

育みたい力の定義と検証方法の概要

担当：森藤 知也

1.育みたい6つの力の定義

研究課題に取り組むにあたり、SSH 事業を通して育みたい6つの力を定めた。また、定めた6つの力、要素をリテラシー、もしくはコンピテンシーの学びの領域に区別し、指導への還元と効率化を図った。育みたい6つの力と学びの領域との対応は以下の通りである。

生徒像		探究的・分野横断的に科学的知識を身に付けたグローバル人材 (地球規模で考え地域から行動できる科学技術人材)	
第Ⅲ期育む力	要素	学びの領域	
A 課題設定力	a	課題に対して取り組むべきことを明確にできる	リテラシー
	b	身の回りの現象に興味や疑問をもつことができる	コンピテンシー
B 企画協働力	c	自ら考え主体的に取り組むことができる	コンピテンシー
	d	仲間と協力して行動することができる	コンピテンシー
C 論理考察力	e	与えられた情報を自分で整理することができる	リテラシー
	f	教科や分野を超えて思考することができる	コンピテンシー
	g	根拠をもって物事を論理的に考えることができる	コンピテンシー
	h	学んだ内容と社会との関係を考えることができる	コンピテンシー
D 自己学習力	i	正しい情報を自ら選択、収集することができる	リテラシー
	j	継続して課題や学習に取り組むことができる	コンピテンシー
E 表現理解力	k	自分の考えを他者に伝えることができる	リテラシー
	l	他者の話に疑問をもち、質問することができる	リテラシー
	m	英語を用いて発表や意思疎通ができる	リテラシー
F 知識・技能	n	理数的な技術や知識を身につけることができる	リテラシー
	o	目的に応じた ICT 機器の活用ができる	リテラシー

2.評価調査の概要

SSH の各事業が、上記の育みたい6つの力にどの程度寄与したかを検証するために、「各事業が生徒の6つの力にどのように影響を及ぼしたかを明らかにする評価調査」と「全校生徒を対象に、年度を通じて6つの力がどのように変容したかを明らかにする評価調査」の、2つの評価調査を実施した。「各事業が生徒の6つの力にどのように影響を及ぼしたかを明らかにする評価調査」については、右の評価用紙を用いて、各事業に参加した生徒を対象に、事業の事前ならびに事後に実施した。評価調査の結果は、第3章 研究開発の内容 での検証にて活用した。「全校生徒を対象に年度を通じて6つの力がどのように変容したかを明らかにする評価調査」については、6月と12月に評価用紙を用いて調査を実施した。評価用紙の詳細と調査結果は、第4章 実施の効果とその評価 にて活用した。